



# レインボー支援センターだより

岩手県立盛岡青松支援学校  
平成 26年6月13日発行



## レインボー支援センターの活動を紹介します

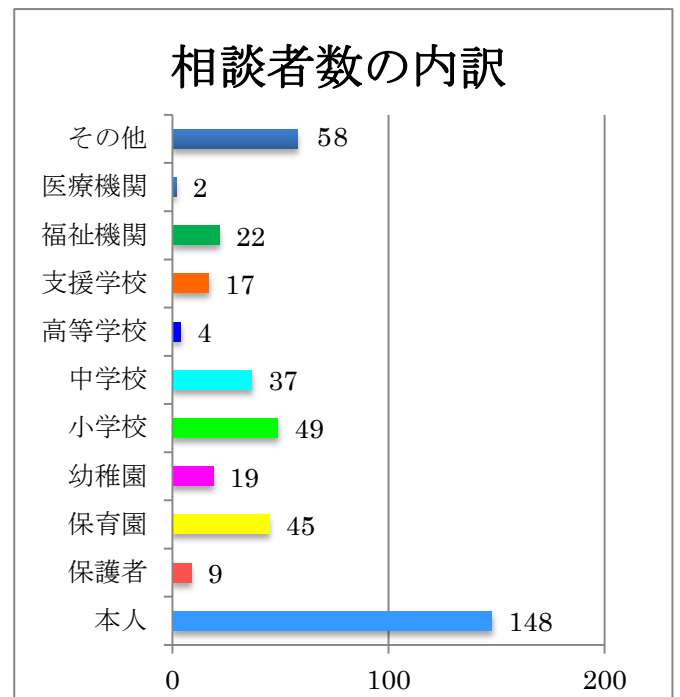
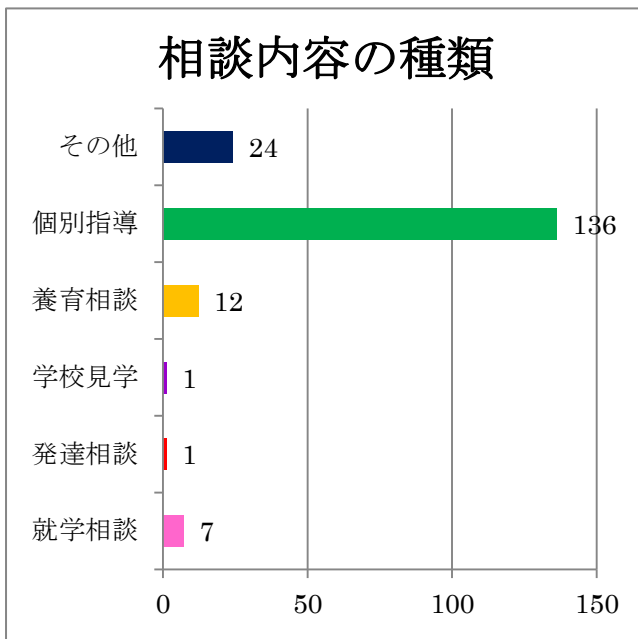
季節外れの暑い日々が過ぎ、今年もまた梅雨の季節を迎えました。今年度もレインボー支援センターでは、生活や学習の悩み、お友達との関係など発達に関わる悩みをもつ方々の相談・支援活動を行っております。

今回は、参考にさせていただければと思い、昨年度レインボー支援センターに寄せられた相談・支援内容について紹介いたします。

### 《H25年度》



- 1 相談件数・・・ 79 件
- 2 相談者数・・・410 人 ※延べ人数



※ 1回の相談で、複数の相談内容が含まれるケースがあるため、合計と数値が異なります。

今回掲載いたしました相談件数は、25年度、地域の幼稚園・保育園、小・中・高等学校、支援学校を対象とした相談をまとめたものです。(本校への転出入にかかわる相談支援は含まれておりません。)

相談内容は、通常学級に在籍しているお子さんの学習に関する相談、集団参加や対人関係など、生活面でのトラブルに関する相談割合が高くなっています。安心して学習できる環境づくり、授業の工夫、学級ルールづくりなど、実際に生かすことができる手立てについて、学年団や支援チームの先生方と話し合いながらすすめたいと思っております。

相談・支援活動の中で、「何度注意しても・・・」という担当者の声を聞くことがあります。集中力が途切れやすいお子さんや、感情のコントロールが難しいお子さんへの対応については、様々な手立てが考えられますが、その中の一つに行動療法を基にしたペアレント・トレーニングがあります。以下は「えじそんくらぶ、無料ダウンロード冊子（子育てストレスを減らす3つのヒント）から抜粋したものです。私たち教師にも参考になるとと思います。

### あったかクラスづくりのコラムより

えじそんくらぶでは、親のストレスマネジメントと子どもの行動の分類をメインにした、ペアレントサポートプログラムを提供しています。大人から見れば好ましくないと思われる子どもの行動も、分析してみると「うっかり忘れる」「指示の意味が分からない」「背後に見捨てられ感があり、注目されたくてわざとやる」という3つの視点が主にあり、それぞれ対応法が異なります。「子どもがどんなことで困っているか」という視点で子どもの言動の観察と分類を行うと、より適切なかわりかかわりがもてるようになるでしょう。



## ● レインボー支援センター支援活動 ●

### 相談内容

訪問や来校、電話での個別相談。  
 実態把握に関する相談。  
 個別の指導計画の作成に関する相談。  
 校内研修会の講師等。



### 《スタッフ》

- ☆小学部：菊地 美菜
- ☆中学部：松平 久美子・高橋 壽美子・泉舘 佳生
- ☆高等部：北田 淳子



## ● 相談方法 ●

ご相談は、電話（9時～17時）にて受け付けております。  
 ご相談内容をお聞きし、後日改めて相談の日程等についてご連絡いたします。

《盛岡青松支援学校 レインボー支援センター》

TEL 019-661-5125 ・ FAX 019-661-5170

どうぞ お気軽にご連絡ください！